カンエンガヤツリ（カヤツリグサ 科）　　**兵庫県：要調査種**

Cyperus exaltatus Retz. *var. iwasakii* (Makino) T.Koyama　　**環境省：絶滅危惧Ⅱ類**

種の概要

湿地にまれにはえて、群落をつくる。根茎は太くて短い。茎は太く、高さ80-120cm、葉は幅8-15mm。花序は大型で長さ幅とも10-30cm、苞は4-5個ついて、花序よりも長く、葉状、枝は長さ20cmになる。花穂は長さ幅とも1-1.5cm。小穂は密について開出し、長さ5-10mm、扁平で黄褐色を帯び、鱗片は卵形で長さ1.7-2mm、竜骨は緑色で、先端が突出してわずかに外曲する。

（画像無し）

国内分布

本州

県内分布

摂津

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
						○

特記事項

博物館で標本を確認したが、不明な点が多い。2009年版での追加種。

保護上の留意点

生育地の保全